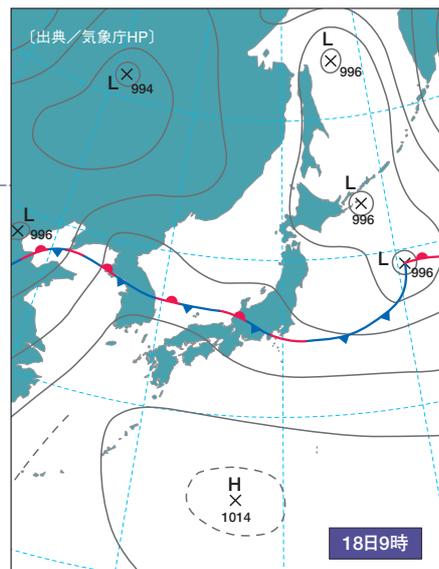


# 福井豪雨

災害発生日●平成16年7月17日～18日  
主な被災地●福井県

## まさかの足羽川決壊、氾濫 鉄道が寸断され道路は川になった

福井県嶺北地方に未曾有の被害をもたらした7月18日の集中豪雨。「災害は忘れたころにやって来る」。数十年、いや数百年に一度かもしれないが、予想を超えた災害に常日ごろから備えておくことがいかに大切かを、福井豪雨は教えている。  
人的被害は死者4人、行方不明者1人、負傷者9人。  
住家被害は全壊69棟、半壊140棟、一部破損229棟。



### 狭い範囲に豪雨が集中 数時間で1ヶ月分の降雨

7月17日21時ごろ、能登半島沖に停滞していた梅雨前線がゆっくりと南下しはじめ、夜半過ぎから急速に雨雲が発達。福井県嶺北北部の足羽川流域を中心とした狭い範囲に大量の雨を降らせた。ちょうど足羽川に沿う形で上空に強い雨雲ができ、一帯に集

中豪雨をもたらしたのである。特に激しく降ったのは、18日の早朝から昼前にかけての時間帯だ。美山町では18日5時からの1時間で87mmもの雨量を観測。それから4時間ばかりの間、同町はかつて経験したことのない猛烈な雨に見舞われた。降り始めからの総雨量は285mmに達し、平年7月の月間雨量236.7mmを上回る記録的な豪雨となった。福井市や池田町もほぼ同様の状況で、そ

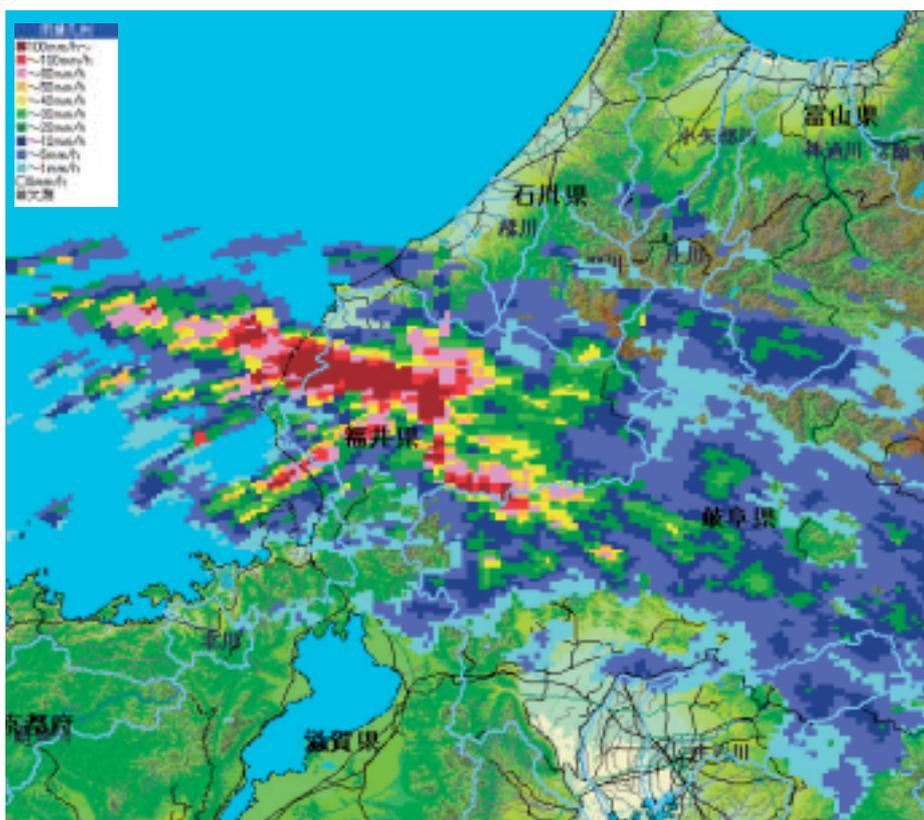
れぞれの降り始めから16時までの降雨量は福井市が198mm、池田町が217mmだった。福井市内の天神橋地点では、2日間の総雨量は268.8mmだったものの、そのうちの228.9mmが18日の朝4時から10時までの6時間に降っている。6時間最大雨量でみた場合、100年に1回の確率で発生する大豪雨だったことが、その後の調べでわかった。

早朝に美山町を襲った集中豪雨が激流となって福井市の足羽川に到達した9時台に、福井市も時間雨量75mmという観測史上最大の雨に見舞われた。足羽川の水位はぐんぐん上昇し、九十九橋の水位計は9時10分に警戒水位を超えて7.15mに達し、12時過ぎには計画高水位を上回る10mに。そして、北陸本線や木田橋の上下流部で濁流が堤防を越えて、市街地に流れ込み始めた。

### 足羽川左岸堤防が決壊 濁流が次々と街を呑み込む

福井市内では、18日の正午頃に雨は小康状態となっていたが、上流で降った雨が足羽川に流れ込み、13時45分には福井市春日1丁目で足羽川左岸の堤防が決壊。出口を求めた濁流は次々と住宅街を呑み込んだ。まさかと思われた水の恐怖が、現実となったのである。

福井市内では約3万5000世帯に避難指示・勧告が発令され、3200棟以上が床上浸水、



▲国土交通省レーダ雨量にみる福井周辺の集中豪雨 (7月18日午前8時時点)



▲足羽川左岸の堤防が決壊し濁流に襲われる市街地（福井市春日1丁目）〔写真提供／近畿地方整備局河川部〕

8000棟以上が床下浸水の被害に見舞われた。

福井市橋南地区では、足羽川堤防決壊直後から避難する住民が増え続け、地元の小学校や公民館は避難者であふれかえった。同市みのり地区は夜になっても水が引かず、一時孤立した。住宅に取り残される住民も多く、ヘリコプターによる救出活動が断続的に続けられた。夜近くになっても自宅2階の窓から助けを求める住民が多数おり、救出された住民は近くの病院へ次々に搬送された。救助された住民たちは、「こんな増水は初めて」「あっという間の出来事。どうしようもなかった」「まさか足羽川が決壊するなんて……」と、一様に茫然自失の状態だった。

橋南地区はもともと水はけの悪い土地で、これまでもたびたび内水被害に見舞われてきた。普段はたとえ内水が発生しても、ある程度時間がたてば水は引き、それほど大きな被害をもたらすことはなかった。しかし、18日はいつまでたっても水は引かず、

▼美山町内に流れ込む濁流（美山中学校西側）〔写真提供／近畿地方整備局河川部〕





▲美山町蔵作地区で発生した土石流〔写真提供／福井県土木部〕

時間の経過とともに、かえって水かさは増していきばかり。それでも、住民の多くは「いつものように、そのうち引くだろう」と安心しきっていたようだ。事実、水害後に足羽川洪水災害調査対策検討会が実施した被災住民へのアンケート調査でも、「まさか足羽川が決壊・氾濫するとは思っていなかった」と答えた人が66%に上っており、この地域の足羽川に対する防災意識の希薄さがうかがえる結果となっている。さらに、

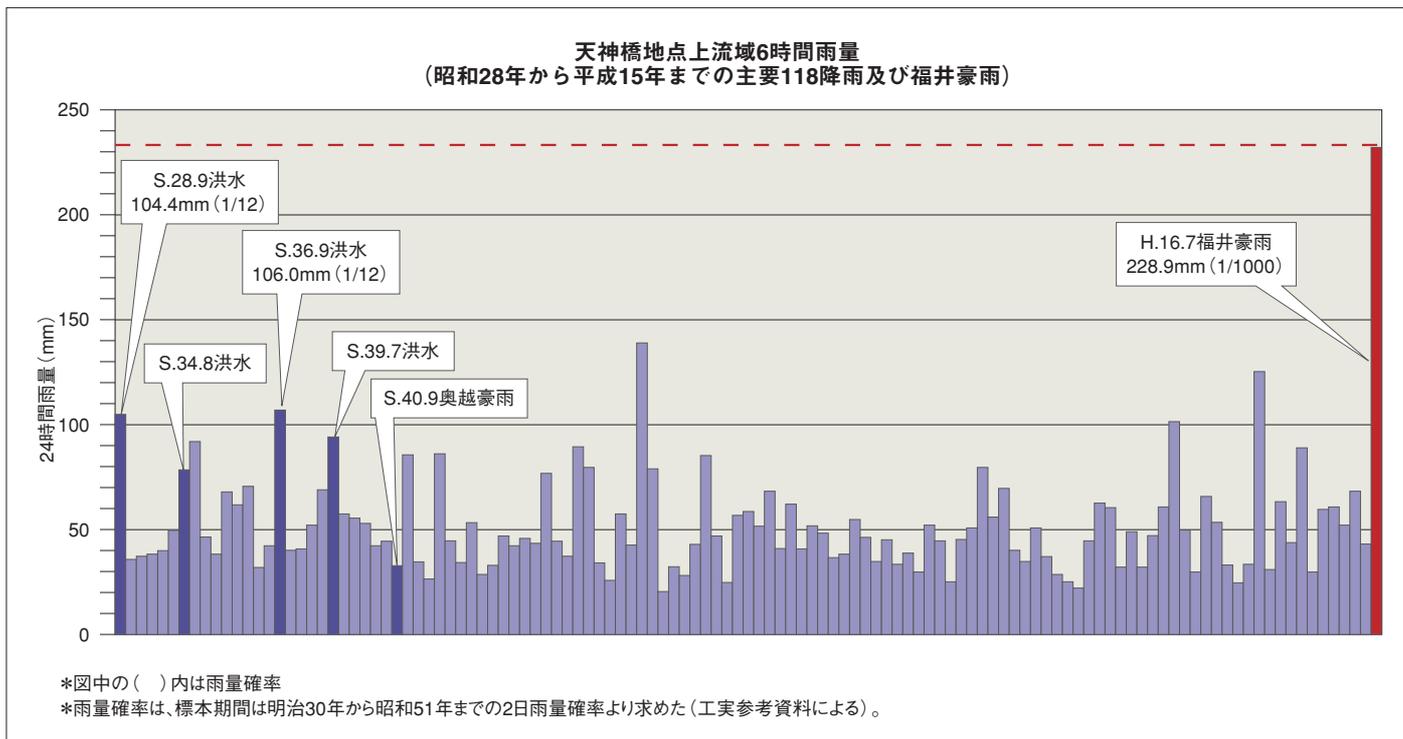
過半数の人が「集中豪雨に見舞われた18日の午前中も、さして不安は感じなかった」と答えている。

その理由として、「最近、川が氾濫したことがないから」という答えが圧倒的多数を占めた。1965年の奥越豪雨による洪水被害以来、福井市内で大きな水害は発生していなかったのだ。住民の防災意識が低下してしまうのも、ある意味、仕方のない話ではある。しかも、市中心部で足羽川の堤防が

決壊したのは戦後初めての出来事。そうした経緯もあって、多くの住民の心の中に「油断」が生じていたに違いない。7月18日の福井豪雨は、まさにそのスキを突いた格好になった。

住宅地だけでなく、福井市南部にある公共施設や企業などでも浸水被害が相次いだ。JR福井駅も濁流に浸かり、西木田2丁目の福井商工会議所ビルは、地下の国際ホールなど大小2つのホールが水没した。地下にあった電源や給水などのライフライン中枢が故障し、ビル機能すべてが停止。想定外の事態に混乱をきたした。地上からの水の流入で人々は逃げ場を失い、ひとつ間違えば人命にかかわる大惨事となるところであった。

また福井市、鯖江市、今立町、美山町、池田町などで138件の土砂災害が発生した。美山町では町内の至る溪流で土石流が発生し、全住宅の3分の2が床上浸水などの被害を受けた。電気や水道などのライフラインも寸断され、町中心部への県道の一部が土砂崩壊や冠水で寸断されるなど、陸の孤島と化した。さらに、蔵作地区を流れる支流の蔵作川でも土石流が発生し、山の斜面を縫うように走る道路が濁流となって家々を呑み込んだ。朝谷島にある町役場は押し寄せた濁流に囲まれ、早朝に集まった職員たちも一時孤立。駐車場や付近の民家などに止めてあった自動車100台あまりが流され、



6時間雨量では観測史上過去最高を記録〔資料提供／近畿地方整備局河川部〕

大型バスも引きずられるなど、集中豪雨のすさまじさを物語る光景がそこかしこに見られた。住民は高台の集会所や寺などに避難し、それぞれ不安な一夜を過ごした。

## JRの鉄橋5本が流失 全線復旧の見通し立たず

福井豪雨は、公共交通機関にも強烈な打撃を与えている。JR北陸線は大聖寺駅～鯖江駅間で運転を中止し、JR越美北線も18日の朝5時半ごろから運転を見合わせていたが、その後、美山町内で足羽川にかかる鉄橋が流されたほか、沿線で土砂崩れも相次いだ。JR越美北線は福井市花堂から足羽川に沿うように敷設され、運転区間は九頭竜川上流の和泉村・九頭竜湖までの計52.5km。集中豪雨で合計7本ある鉄橋のうち5本が流され、道床や路盤19箇所が流失、のり面、盛土も5箇所で崩壊した。また、線路の大部分が水没してしまったため、全線が壊滅状態に。JR越美北線は2005年3月現在、全線復旧の見通しは立っていない。

また道路については、冠水、崩土、道路流失などにより、北陸自動車道や国道8号、157号、158号など計29路線が通行止めとなり、美山町内を走る国道364号の高田橋も濁流で流失した。

そのほか、変電所の冠水や河川の決壊による配電線の亀裂などにより、18日の朝8時



▲流失したJR越美北線の足羽第3鉄橋（美山町）〔写真提供／福井県土木部〕

半ごろから、福井市では一乗地区を中心とする約900世帯、木田橋地区など足羽川左岸地域の約2100世帯、美山町と池田町のほぼ全域の約3300世帯の計6300戸が停電。家屋の冠水や土砂崩れなどにより水道管の破裂も相次ぎ、福井市内の本郷地区では約300世帯が断水した。

## 在宅率の高い休日に被災 行政も早目の避難勧告

新潟・福島豪雨では高齢者の方の住宅内

での溺死が多く発生していたが、この福井豪雨では皆無であった。それは、福井県および福井市の対応（避難勧告の発令等）が早かったこと、また災害が発生したのが休日の午前中で在宅者が多く、高齢者などの災害時要援護者を自宅2階やその他の安全な場所に避難させることができたことが一因ではないかと考えられる。足羽川左岸の堤防が決壊した福井市内では死者が出ていない（福井豪雨での死亡原因は、土砂崩れ、用水路への転落、コンクリート壁の下敷き、河川に流されて、である）。

## 土砂の海にあえぐ 路上に溢れたゴミの山

5日前に発生した「新潟・福島豪雨」同様、水が引いた後に被災者の前に残されたのは、膨大な量のゴミと土砂だった。福井市内は、決壊した足羽川左岸の住宅地一帯が土砂にまみれた。

豪雨から一夜明けた7月19日、天候が回復して時折晴れ間がのぞく中、各地で本格的な復旧作業が開始された。被災地の住民は、県内外の各地から駆けつけたボランティアの手を借り、家から土砂を運び出す復旧作業に追われた。中には、濁流によって家財道具一式が流された家庭もあった。

使い物にならなくなった家具や電気製品など大型ゴミの回収も翌20日から開始された。ゴミの集積場所となった公園はヘドロがこびりつき、異様な臭気を放つゴミで全体が埋め尽くされた。それでも入りきらないゴミが公園周辺の路上に溢れかえった。



▲1階部分が押し流された民家（池田町松ヶ谷）〔写真提供／近畿地方整備局河川部〕